

コスモ・バイオ (TYO: 3386)

減収減益も、想定範囲内。
円安、コストアップ要因を、値上げで対応へ

◇2023/12期1Q決算サマリー：ほぼ想定内で着地

コスモ・バイオ（以下、同社）の2023/12期1Q決算は、減収減益となったが、ほぼ会社想定通りの着地となった。同社は顧客取引の性質上、1Qに偏重する傾向があり、1Qで通期営業利益計画の2/3を稼ぎ出している。

輸入商社という事業の性格上、昨年央からの円安の影響を大きく受けており、またインフレによるコスト上昇も重石に。一部の商品の値上げが浸透しつつあり、上記のコスト増要因の一部を相殺しているもようだ。

株価的には、今年に入ってから1,000円を割込む状況が多く続いている。マクロ経済的に見ても、暫く円安傾向は続くと思われる。また需要先での研究予算の圧迫もあり、目先の事業環境は容易ではない。しかしながら、今後、仕入原価上昇に対して実施した販売価格の変更が浸透するとともに、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の5類移行に伴い、営業活動等が感染症以前の水準に戻れば、売上面の改善も進むとみられる。PBR1倍割れも懸念事項であり、今後の対応に期待したい。

◇2022/12期1Q期決算実績

2023/12期1Q決算は、売上高 2,828百万円（前年同期比 7.2%減）、営業利益 400百万円（30.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 264百万円（27.8%減）となった。

売上面では、前年同期の水準が高かったことに加えて、直近、大学／研究機関等において、インフレが続く中、研究費への皺寄せ等もあり、売上が伸び悩んだもよう。

利益面では、昨年央からの円安が大きく影響している。昨年1Qの為替レートは対USドルで115円程度であり、直近134円と比較して19円の円安となっている。同社では、為替予約により為替変動リスクをある程度は軽減しているが、影響は大きい。一方で、同社では昨秋以降、一部の商品から順次値上げをしており（商品により数～20%程度）、その結果、粗利率は2022/12期1Q 38.1% → 2022/12期1Q 36.7%と、低下は比較的強く抑えることができた。また、販管費については、引続きコントロールを続けている。

周知の通り、同社の収益は顧客の予算等の性格上1Qが大きくなる傾向にあり、今1Qの売上高、営業利益は、それぞれ通期計画に対して、28.9%、66.7%の進捗となっている。2022/12期、通期実績に対する1Qの売上高、営業利益の構成比は、それぞれ 31.9%、70.8%であり、ほぼ前年並みといえる（次頁上図参照）。

1Q決算アップデート

ヘルスケア

2023年6月1日

株価(5/31)	945円
52週高値/安値	1,117/937円
1日出来高(3ヶ月)	7,142千株
時価総額	57億円
企業価値	30億円
PER(23/12予)	12.16倍
PBR(22/12実)	0.67倍
予想配当利回り(23/12)	3.17%
ROE(TTM)	5.16%
営業利益率(TTM)	6.84%
ベータ(5年間)	0.63
発行済株式数	6,048百万株
上市市場	東証スタンダード

株価パフォーマンス



%	1ヶ月	3ヶ月	12ヶ月
株価	-0.4%	-4.8%	-11.8%
相対株価	-3.8%	-11.0%	-19.8%

注目点

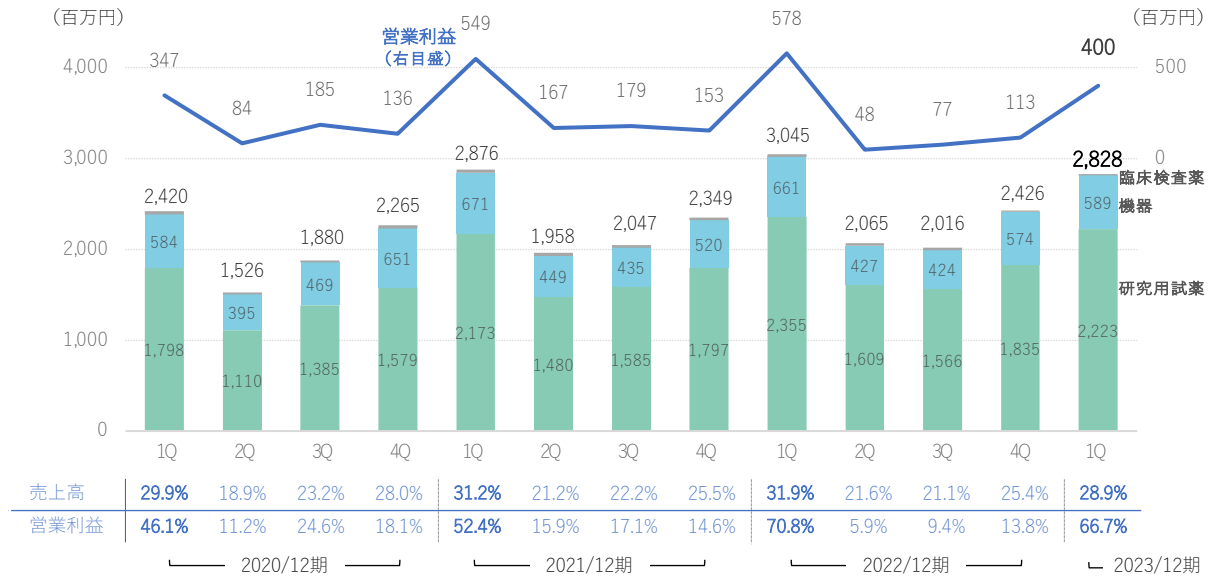
「生命科学の進歩に資する」を目的に掲げるバイオ専門商社。研究者の多様なニーズに応えるために、世界中の約600社のメーカーから1000万点をこえるアイテムを提供。近年は製造機能に力を入れ、自社受託サービス、独自の製造販売事業にも進出中。

コスモ・バイオはOmega Investment Limitedの顧客であり、同社の依頼を受けてレポートを作成しています。詳しくは、最終ページのディスクレームを参照ください。

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	当期利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	DPS (円)
2019/12	7,590	4.5	405	23.5	470	16.5	237	-8.6	40.14	14.00
2020/12	8,092	6.6	752	85.6	817	73.7	674	183.2	113.70	34.00
2021/12	9,231	14.1	1,048	39.4	1,099	34.5	737	9.4	126.94	36.00
2022/12	9,553	3.5	816	-22.2	790	-28.1	517	-29.8	89.13	36.00
2023/12 (会予)	9,800	2.6	600	-26.5	660	-16.5	450	13.0	77.41	30.00
2022/12 1Q	3,047	5.9	578	5.3	565	5.7	366	9.9	63.23	-
2023/12 1Q	2,828	-7.2	400	-30.7	416	-26.2	264	-27.8	45.46	-



売上高／営業利益の推移（四半期）



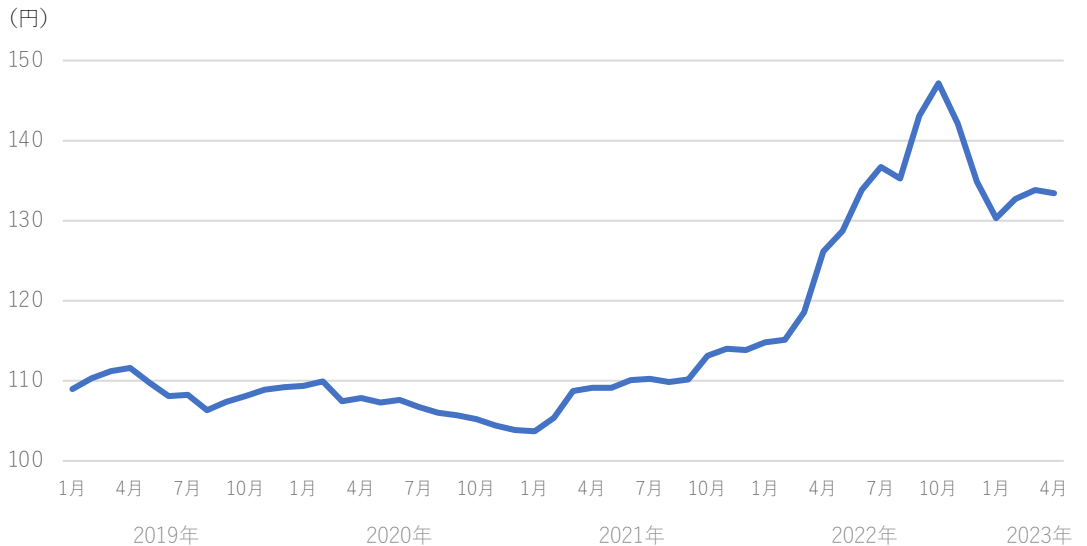
注) 臨床検査薬の売上高は僅少であり、数字を記していない。下段の表は、通期の数字に対する各Qの構成比率。
2023/12期は通期予想に対する進捗度

出所：同社資料より Omega investment 作成

品目別では、**研究用試薬 2,223百万円 (5.6%減)**、**機器 589百万円 (10.9%減)**、**臨床検査薬 16百万円 (45.6%減)**と、それぞれにおいて減収となっている。主要因は、先に述べた通りであるが、感染症拡大時に十分な営業活動が出来なかったことにより新たな商品の顧客開拓が十分でなかったことも効いているようだ。

BSにおいては、2023年3月末の現金及び預金は 2,926百万円、前期末比 -110百万円。一方、上記1Qに売上高が偏重することにより、売掛金は 3,242百万円と、同 517百万円増加している。2023年3月末の総資産は 10,695百万円で、前期末比 382百万円増加した。

ドル・円為替レートの推移



出所：日本銀行、東京インターバンク相場、月中平均



◇2023/12期通期見通し：変更なし

同社では、2023/12期2Q累計の業績予想を、売上高 52億円（前年同期比 1.7%増）、営業利益 4.4億円（29.7%減）、経常利益 4.9億円（21.0%減）親会社株主に帰属する四半期純利益 3.3億円（19.0%減）。2023/12期通期については、売上高 98億円（前期比 2.6%増）、営業利益 6億円（26.5%減）、経常利益 6.6億円（16.5%減）親会社株主に帰属する当期純利益 4.5億円（13.0%減）を予想しているが、1Q終了時点において、両予想とも変更は無しとしている。

為替に関しても、円高への急激な修正の可能性も目先乏しいと予想され、慎重な見方をしている。一方で、今後は値上げの浸透もあり、下期以降での回復に期待が掛かる。

株価推移（直近5年間）



対TOPIX指数チャート（直近3年間）



財務データ

(単位：百万円)

	2020/12				2021/12				2022/12				2023/12
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
【損益計算書】													
売上高	2,420	1,526	1,880	2,266	2,878	1,957	2,046	2,350	3,047	2,064	2,016	2,426	2,828
前年同期比	12.7%	-7.3%	4.4%	13.6%	18.9%	28.2%	8.8%	3.7%	5.9%	5.5%	-1.5%	3.2%	-7.2%
研究用試薬	1	1	0	1	103	0	0	0	2,355	1,609	1,566	1,835	2,223
機器									661	427	424	574	589
臨床検査薬	90	82	138	168	143	138	157	171	29	29	26	17	16
売上原価	1,486	930	1,123	1,401	1,736	1,157	1,242	1,437	1,886	1,345	1,305	1,576	1,789
売上総利益	934	595	757	866	1,142	800	803	913	1,160	719	712	849	1,039
売上粗利益率	38.6%	39.0%	40.3%	38.2%	39.7%	40.9%	39.2%	38.9%	38.1%	34.8%	35.3%	35.0%	36.7%
販売費及び一般管理費	586	512	572	729	593	632	625	759	581	672	635	736	638
営業利益	347	84	185	136	549	167	179	153	578	48	77	113	400
前年同期比	53.5%	460.0%	62.3%	172.0%	58.2%	98.8%	-3.2%	12.5%	5.3%	-71.3%	-57.0%	-26.1%	-30.7%
営業利益率	14.3%	5.5%	9.8%	6.0%	19.1%	8.5%	8.7%	6.5%	19.0%	2.3%	3.8%	4.7%	14.1%
営業外収益	8	43	9	11	7	42	9	13	6	27	11	13	16
営業外費用	0	0	0	6	22	-8	2	4	20	19	18	26	0
経常利益	355	127	194	141	534	218	185	162	565	55	70	100	416
特別利益			0	0									
特別損失			0	0									
税引前当期純利益	355	318	194	141	534	218	185	162	565	55	70	100	416
法人税等合計	114	98	60	35	184	55	58	34	179	15	19	25	137
当期純利益	232	218	125	99	333	157	125	122	366	41	47	63	264
前年同期比	57.8%	581.3%	56.3%	-550.0%	43.5%	-28.0%	0.0%	23.2%	9.9%	-73.9%	-62.4%	-48.4%	-27.8%
当期純利益率	9.6%	14.3%	6.6%	4.4%	11.6%	8.0%	6.1%	5.2%	12.0%	2.0%	2.3%	2.6%	9.3%
【貸借対照表】													
流動資産	6,315	6,300	6,383	6,756	6,975	6,797	6,983	7,310	7,754	7,409	7,089	7,136	7,558
現金及び預金	2,407	3,171	3,251	3,159	2,702	3,235	3,147	3,255	2,994	3,370	3,347	3,036	2,926
売上債権	2,911	2,033	2,188	2,784	3,262	2,431	2,434	2,714	3,390	2,567	2,436	2,799	3,332
商品及び製品	721	861	804	572	551	742	804	805	900	1,054	1,077	1,055	981
固定資産	2,980	3,003	3,039	2,883	2,957	2,838	2,789	2,761	2,801	2,905	3,009	3,176	3,136
有形固定資産	689	673	649	636	624	606	593	599	591	586	583	577	578
投資その他の資産	2,101	2,157	2,224	2,081	2,168	2,037	1,998	1,979	2,038	2,149	2,269	2,428	2,391
資産合計	9,295	9,304	9,422	9,640	9,933	9,635	9,773	10,072	10,556	10,315	10,098	10,313	10,695
流動負債	1,158	976	1,057	1,226	1,327	1,015	915	1,093	1,450	1,131	927	1,038	1,203
短期借入金	142	199	199	180	180	190	199	183	183	188	188	184	
固定負債	600	593	570	552	609	597	654	658	632	632	639	656	663
負債合計	1,758	1,569	1,628	1,779	1,937	1,613	1,570	1,752	2,083	1,763	1,566	1,695	1,866
純資産合計	7,537	7,734	7,794	7,861	7,996	8,022	8,203	8,319	8,473	8,552	8,531	8,617	8,828
株主資本合計	7,052	7,247	7,299	7,358	7,479	7,499	7,678	7,787	7,924	8,004	7,979	8,052	8,250
資本金	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918
資本剰余金	1,251	1,251	1,251	1,251	1,251	1,252	1,258	1,258	1,258	1,260	1,260	1,260	1,260
利益剰余金	4,366	4,584	4,662	4,761	4,940	5,097	5,153	5,274	5,502	5,543	5,496	5,560	5,708
自己株式	-67	-67	-67	-67	-207	-251	-239	-239	-239	-216	-216	-216	-216
その他包括利益累計額	582	560	533	494	575	483	586	574	484	498	520	530	580
非支配株主持分	485	487	495	503	517	523	525	532	549	548	552	565	578
負債純資産合計	9,295	9,304	9,422	9,640	9,933	9,635	9,773	10,072	10,556	10,315	10,098	10,313	10,695
自己資本比率	75.9%	77.9%	77.5%	76.3%	75.3%	77.8%	78.6%	77.3%	75.1%	77.6%	79.0%	78.1%	77.1%
【キャッシュ・フロー計算書】													
営業活動によるキャッシュ・フロー		735		803		600		648		480		284	
投資活動によるキャッシュ・フロー		70		42		-187		-145		-260		-291	
財務活動によるキャッシュ・フロー		-49		-97		-343		-420		-142		-236	
現金及び現金同等物の増減額		755		743		76		95		115		-218	
現金及び現金同等物の期首残高		2,416		2,416		3,159		3,159		3,255		3,255	
現金及び現金同等物の期末残高		3,171		3,159		3,235		3,255		3,370		3,036	

注) キャッシュ・フロー計算書については、2Qは1Q~2Qの累計、4Qについては1Q~4Qの累計の数値となっている。従って、期首残高も、それぞれ前4Qの期首残高となる

出所：同社資料より Omega Investment 作成



General disclaimer and copyright

本レポートは当該企業への取材や決算資料等を元に作成・表示したのですが、その内容及びデータの正確性、完全性、信憑性を保証するものではありません。本レポートは、情報提供のみを目的としており、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。オメガインベストメントは、本レポートの使用により発生した結果について一切の責任を負うものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への取材を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はオメガインベストメントの調査によるものです。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はオメガインベストメントに帰属します。配布、譲渡、複製、及び転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。